

熊本で再び大地震

7月28日の夕方、熊本県で最大震度7の地震が発生しました。家屋の倒壊や道路の寸断、ショッピングセンターのガス爆発など、甚大な被害が発生し、今も水道などのライフラインが止まったままです。熊本では、ちょうど10年前にも大きな地震があり、ようやく復興されたところに、また地震が起きました。お亡くなりになられた方々に哀悼の気持ちを寄せるとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

熊本は、浄土真宗のお寺が多い地域です。本堂や山門が倒壊したお寺もたくさんあることから、本願寺派でもいち早く現地対応や募金活動がスタートしました。わずかですが住職も支援の募金をさせていただきました。

今年も酷暑が続いており、被災地では40度を超える日も出ています。被災地に心を寄せつつ、私たちも気を付けて過ごしてまいりましょう。



滋賀県は自然災害が少ないという声をよく聞きます。本当にそうでしょうか。県内では1909年(明治42年)に湖北地方を中心に大きな被害が出た姉川地震があります。死者35人、家屋倒壊2000件以上という記録が残っていて、祖父から、豊郷でもとても揺れて怖かったという話を聞いたことがあります。滋賀県は内陸県なので津波の心配はありませんが、琵琶湖周辺には活断層もあるらしく油断は禁物です。福井県には発電所もたくさんありますので、電気が止まったり、水道が止まったりしたらたちまち生活に困ってしまいます。遠くの地震を他人事にせず、お互いに助け合うことが大切だと思います。



人間は忘却する生き物です。前向きに生きていくためには辛かったことや苦しかったことを忘れたほうが良いのかもしれませんが、一方で、忘れないことも、長い時間の経過とともにいつしか記憶が薄れていきます。薄れてはきますが、ご縁というものは尽きることはありません。人間は助け合って生きる生き物でもあります。

生活や交通や経済の復興だけでなく、人と人とのご縁や心の安寧が少しでも早く復興することを願っています。

8月(葉月)

一日(土) ブロック僧侶研修

一五日(土) お盆

一八日(火) お講 一一時

二二日(土) 地藏盆

くらしの仏教用語

覚悟(かくご)

「覚悟を決める」とか「決死の覚悟」とか、重大な決断や決心をすること。「覚悟」と言いますが、もともとは仏教用語で、真理をへさとする、真理に〈目覚める〉ことを意味します。

歌手の美輪明宏さんが

「どんなトラブルが起きても微動だにしない。そんなレベルに達するまで人生の修行は続きます。弱音を吐かず覚悟を決めて。」

と言われたそうです。私には、とてもじゃないですが、そんな覚悟を決める勇氣はありません。よくよく考えれば一番に覚悟を決めなければならぬのは「人間は誰もが独りで生まれ、独りで死んでいく」ということかもしれません。人は、この世では絶対に独りでは生きられず、生かされて生きていくのが人間です。覚悟、覚悟と力よりもへいのちの真相に気づくことが大事なのでしょう。

お寺前道路の排水工事完了
通行止め解除されました



六月初めより、安正寺さんから県道までの道路で、排水溝の設置工事が行われていました。工事の間は、お寺へのお参りやご用事の際に回り道をしていただいたり、遠回りで出かけたりするために早く身支度をする必要がありました。ありがたいことに順調に工事が進められ、すっかりきれいになって再び通行できるようになりました。

字内は、側溝や排水溝がない道路が多く、雨が降ると道路が水浸しになることが多いのですが、これからの台風シーズンに大雨が降っても少し安心です。とはいえ畑や田んぼには雨は欲しいですが、災害が起きるような豪雨はお断りしたいですね。

8月の掃除当番は、尾田克宏さんです。お世話様ですがよろしく願います。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ





夏休み恒例の間違い探し！
楽しい楽しい地蔵盆、あれれ、上と下の絵、どこか違うよ。
間違いは七つ。さうて、どこが違うでしょう？

住職の星空案内

8月といえばペルセウス座流星群が有名です。流星群は、一晩にたくさんの流れ星が見える現象です。流れ星が地球に落ちてくるようなイメージがありますが、彗星が撒き散らした塵が浮遊する空間を地球が通ることによって起こります。むしろ流れ星の巣に地球が落ちていくといった方が正確かもしれません。特に、塵が多いときには雨のように流星が見られることから流星雨(りゅうせいいう)と呼ばれます。今年は、そこまてたくさんの流星を見ることはできそうにありませんが、8月12日の夜遅く、夜空を見上げると数個くらいは見つけることができるかもしれませんよ。

先月号の答え

問いに当てはまる高僧の名前を左の枠の番号から選んでください。

天台宗の開祖。
伝教大師と呼ばれる。

真言宗の開祖。弘法大師。
高野山に道場を開いた。

念仏による救済。親鸞聖人が「よき人」と慕った。

他力本願を説く。
浄土真宗の宗祖。

法華経第一。南無妙法蓮華経を唱えよと説く。
浄土真宗を広めた。

本願寺派第8世の宗主。
中国から戒律を伝えた。

4度目の挑戦で日本に到着。

- ① 鑑真 ② 最澄 ③ 空海
④ 法然 ⑤ 親鸞 ⑥ 日蓮
⑦ 蓮如

